

## 令和 4 年度宮城県歯と口腔の健康実態調査結果概要（速報版）

### 1 目 的

この調査は、県民の歯と口腔の健康実態と生活習慣や歯科保健行動との関係性等を把握し、「第 2 期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」の取組状況及び各目標の最終評価並びに次期計画策定に向けた見直しに係る基礎資料とし、今後の歯科保健施策の推進に資するために実施するもの。

### 2 実施主体 宮城県

### 3 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県全域
- (2) 対 象 者 対象地区に居住する 20 歳～84 歳までの男女 1,300 人
- (3) 抽出方法 宮城県内に住民登録を行っている 20 歳から 84 歳までの住民について、5 歳刻みの年齢ごとに各市町村から無作為抽出

### 4 調査方法

- ・口腔診査及び自記式質問調査
- ・県が対象者に調査票を郵送。対象者は歯科医療機関にて口腔診査を実施し、調査票を登録歯科医療機関に提出。

### 5 調査結果

#### (1) 協力人数（協力率）

- 口腔診査 465 人 (35.8%)
  - 内訳〔構成割合〕 性別：男性 190 名〔40.9%〕, 女性 275 名〔59.1%〕
  - 65 歳以上の高齢者：194 名〔41.7%〕
- 自記式質問調査 544 人 (41.8%)
  - 内訳〔構成割合〕 性別：男性 229 名〔42.1%〕, 女性 315 名〔57.9%〕
  - 65 歳以上の高齢者：204 名〔37.5%〕

#### (2) むし歯とその処置状況等について

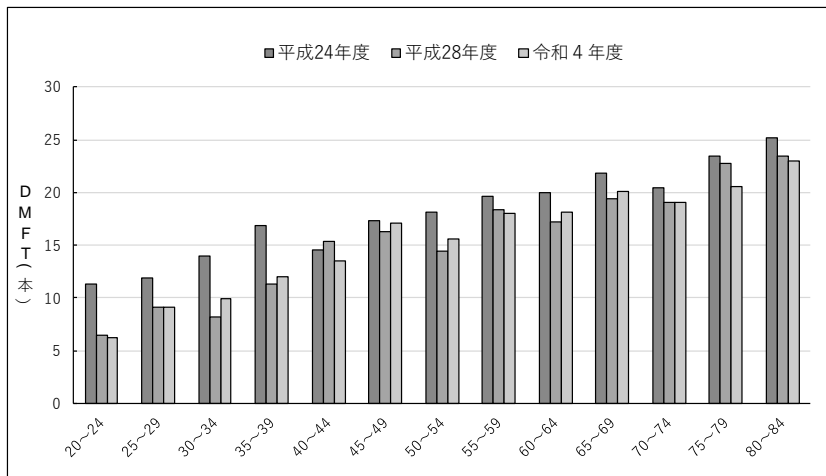
一人平均むし歯経験歯数（DMF T）は、20～24 歳では 6.2 本、40～44 歳では 13.5 本、60～64 歳では 18.2 本、80～84 歳では 23.0 本であり、前々回調査（平成 24 年度調査）、前回調査（平成 28 年度調査）と比較して、ほとんどの年齢階級において、新しい調査ほど DMFT が減少している傾向が観察された（図 1）。

現在歯数は、20～24 歳では 29.0 本、40～44 歳では 28.4 本、60～64 歳では 25.7 本、80～84 歳では 16.5 本であった。これまでの調査結果を比較すると、20～50 代においては現在歯数に明らかな変化は見られないが、60 代以降では、新しい調査ほど現在歯数が多くなる傾向がみられた。（図 2）。

未処置歯数は、20～24 歳では 1.4 本、40～44 歳では 2.5 本、60～64 歳では 1.2 本、80～84 歳では 1.4 本であり、前回までの調査と比較して明らかな増減の傾向はみられなかった（図 3）。

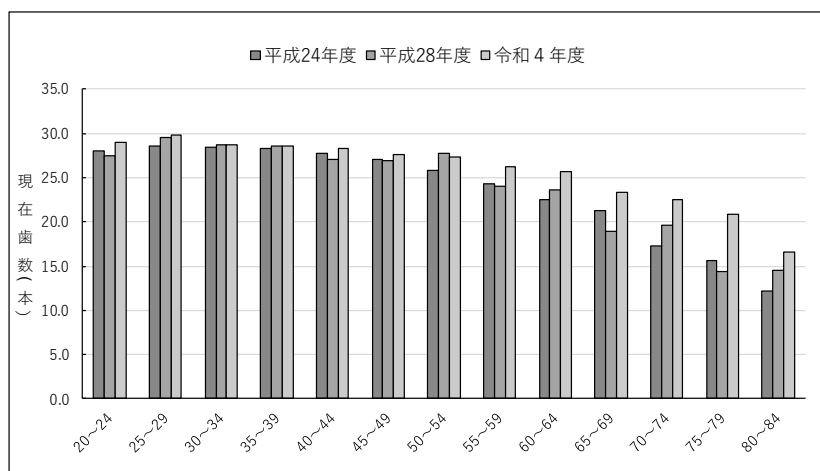
なお、80 歳で現在歯が 20 本以上の 8020 達成者は、80～84 歳の年齢階級では 47.9%であった。60 歳で現在歯が 24 本以上の 6024 達成者は、60～64 歳の年齢階級では 78.8%であった。

図1 年齢階級ごとの一人平均むし歯経験歯数 (DMFT)



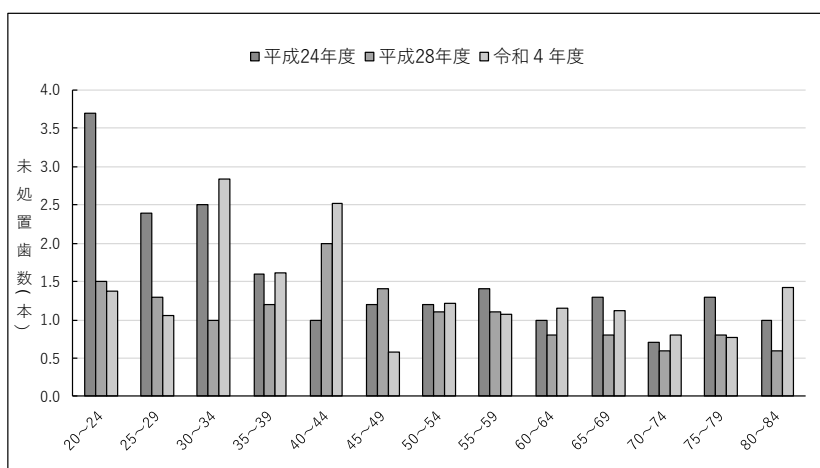
年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)	令和4年度 (本)
20~24	11.3	6.5	6.2
25~29	11.9	9.1	9.2
30~34	14	8.2	9.9
35~39	16.9	11.3	12.0
40~44	14.6	15.4	13.5
45~49	17.3	16.3	17.1
50~54	18.1	14.4	15.5
55~59	19.6	18.4	18.1
60~64	20	17.2	18.2
65~69	21.8	19.4	20.1
70~74	20.4	19.1	19.1
75~79	23.5	22.8	20.6
80~84	25.2	23.5	23.0
85~	27.6	-	-
総数	18.5	17.8	16.8

年齢階級ごとの現在歯数平均値



年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)	令和4年度 (本)
20~24	28.1	27.5	29.0
25~29	28.7	29.6	29.9
30~34	28.5	28.7	28.8
35~39	28.3	28.6	28.6
40~44	27.8	27.1	28.4
45~49	27.1	27.0	27.7
50~54	25.9	27.7	27.3
55~59	24.4	24.1	26.3
60~64	22.5	23.6	25.7
65~69	21.2	19.0	23.4
70~74	17.3	19.6	22.6
75~79	15.6	14.3	20.9
80~84	12.2	14.5	16.5
85~	8.4	-	-
総数	21.6	21.9	24.9

図3 年齢階級ごとの未処置歯数 (未処置のむし歯本数) 平均値

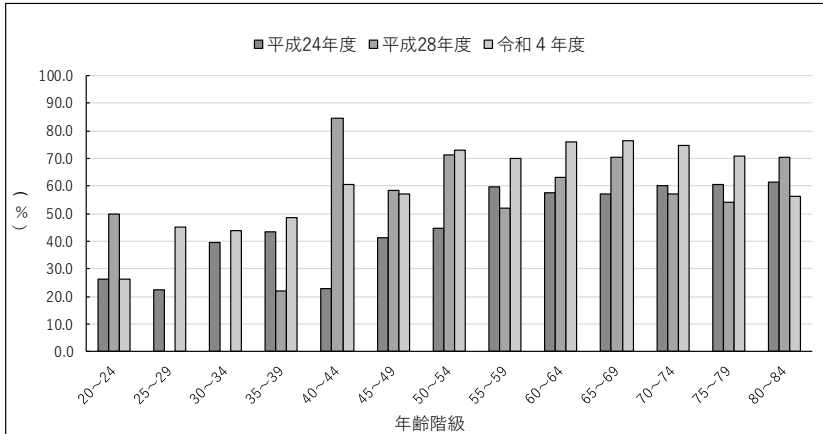


年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)	令和4年度 (本)
20~24	3.7	1.5	1.4
25~29	2.4	1.3	1.1
30~34	2.5	1.0	2.8
35~39	1.6	1.2	1.6
40~44	1.0	2.0	2.5
45~49	1.2	1.4	0.6
50~54	1.2	1.1	1.2
55~59	1.4	1.1	1.1
60~64	1.0	0.8	1.2
65~69	1.3	0.8	1.1
70~74	0.7	0.6	0.8
75~79	1.3	0.8	0.8
80~84	1.0	0.6	1.4
85~	2.2	-	-
総数	1.5	0.9	1.3

### (3) 歯肉の状態について

歯周疾患を有する者（歯周ポケットが4mm以上の者）の割合は40代以降では50%を超えていた。前回までの調査と比較して、50代以降では調査が新しくなるにつれて歯周疾患を有する者の割合が増加する傾向が観察された。（図4）。

図4 年齢階級ごと歯周疾患を有する人の割合  
（歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の割合）

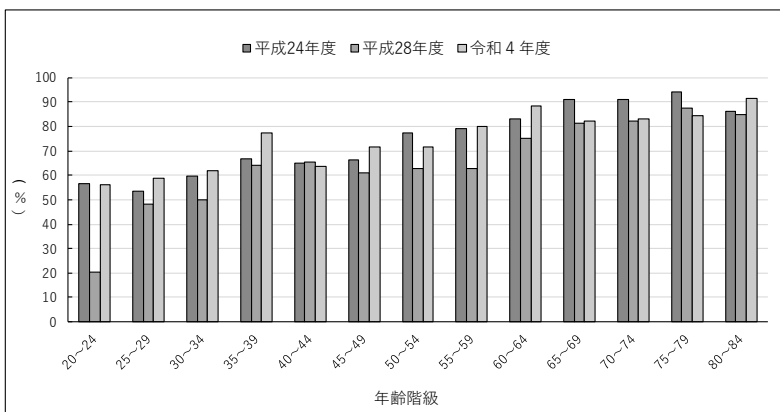


年齢階級 (歳)	平成24年度 (人) (%)	平成28年度 (人) (%)	令和4年度 (人) (%)
20~24	14 26.4	1 50.0	5 26.3
25~29	14 22.6	- -	9 45.0
30~34	25 39.7	- -	11 44.0
35~39	35 43.2	2 22.2	15 48.4
40~44	18 22.8	11 84.6	23 60.5
45~49	28 41.2	7 58.3	16 57.1
50~54	37 44.6	10 71.4	27 73.0
55~59	40 59.7	13 52.0	28 70.0
60~64	53 57.6	17 63.0	25 75.8
65~69	47 57.3	31 70.5	39 76.5
70~74	57 60.0	20 57.1	35 74.5
75~79	51 60.7	13 54.2	34 70.8
80~84	46 61.3	12 70.6	27 56.3
85~	1 20.0	- -	- -
該当数	466	137	294
総数	989	240	465

### (4) 歯科保健行動について

「かかりつけ歯科医院を持っていますか」の問いには76.4%があると回答し、すべての年代で5割以上の方がかかりつけ歯科医を持っていた（図5）。また若年者よりも年配の方でかかりつけ歯科医院を持つ割合が高かった。

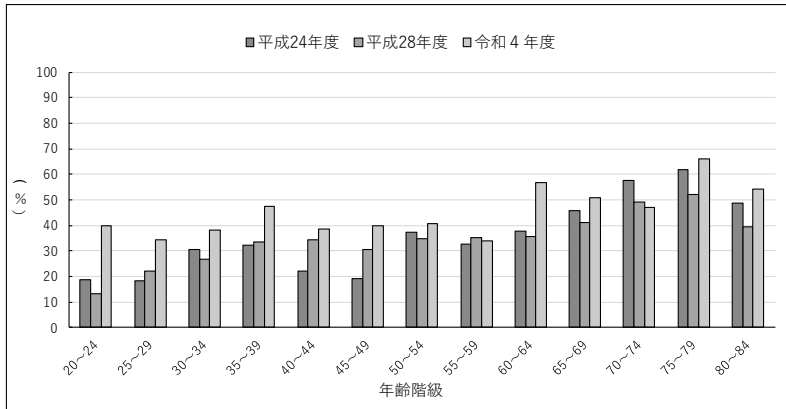
図5 年齢階級ごとかかりつけ歯科医を持つ人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度 (人) (%)	平成28年度 (人) (%)	令和4年度 (人) (%)
20~24	30 56.6	3 20.2	14 56.0
25~29	32 53.3	13 48.1	17 58.6
30~34	37 59.7	15 50.0	21 61.8
35~39	54 66.7	23 63.9	31 77.5
40~44	50 64.9	38 65.5	28 63.6
45~49	45 66.2	30 61.2	25 71.4
50~54	62 77.5	29 63.0	30 71.4
55~59	53 79.1	34 63.0	36 80.0
60~64	75 83.3	42 75.0	38 88.4
65~69	72 91.1	69 81.2	47 82.5
70~74	84 91.3	42 82.4	39 83.0
75~79	79 94.0	42 87.5	43 84.3
80~84	62 86.1	28 84.8	43 91.5
85~	5 100.0	- -	- -
該当数	740	408	412
総数	970	588	539

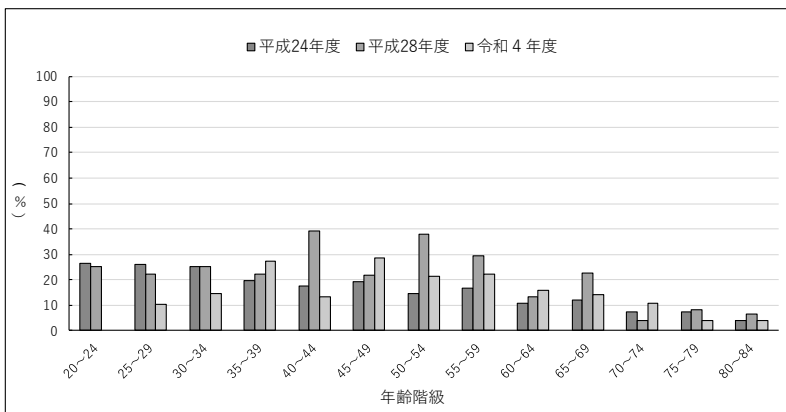
「年に1回以上、歯科医院で健診を受けていますか」の問いに「はい」と回答した人は46.4%であり、若年者よりも高齢者で受けている者の割合が高かった。前回までの調査と比較すると、特に20~40代において大きく増加している傾向が観察された（図6）。

図6 年齢階級ごと年1回以上歯科健診を受けている人の割合



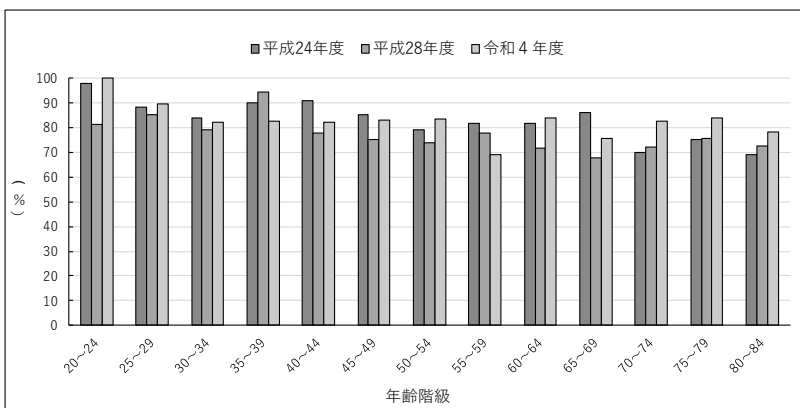
「たばこを吸いますか」の問いに「はい」と回答した人は14.4%であった。若年者及び高齢者における喫煙者の割合は低くなっている。(図7)。

図7 年齢階級ごと喫煙者の割合



「喫煙はお口の健康に悪影響を及ぼすと思いますか」の問いには、81.8%が「思う」と回答し、その割合は若年者において高く、20~24歳では100.0%となっている。(図8)。

図8 年齢階級ごと喫煙が口の健康に悪影響を及ぼすと思う人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度 (人) (%)	平成28年度 (人) (%)	令和4年度 (人) (%)
20~24	10 (18.9)	2 (13.3)	10 (40.0)
25~29	11 (18.3)	6 (22.2)	10 (34.5)
30~34	19 (30.6)	8 (26.7)	13 (38.2)
35~39	26 (32.1)	12 (33.3)	19 (47.5)
40~44	17 (22.1)	20 (34.5)	17 (38.6)
45~49	13 (19.1)	15 (30.6)	14 (40.0)
50~54	30 (37.5)	16 (34.8)	17 (40.5)
55~59	22 (32.8)	19 (35.2)	15 (34.1)
60~64	34 (37.8)	20 (35.7)	25 (56.8)
65~69	36 (45.6)	35 (41.2)	29 (50.9)
70~74	53 (57.6)	25 (49.0)	22 (46.8)
75~79	52 (61.9)	25 (52.1)	33 (66.0)
80~84	35 (48.6)	13 (39.4)	26 (54.2)
85~	4 (80.0)	-	-
該当数	362 (37.3)	216 (36.7)	250 (46.4)
総数	970	588	539

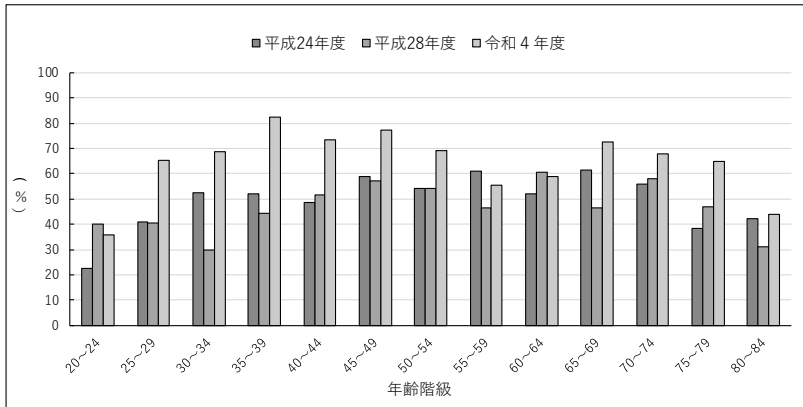
年齢階級 (歳)	平成24年度 (人) (%)	平成28年度 (人) (%)	令和4年度 (人) (%)
20~24	14 (26.4)	4 (25.0)	0 (0.0)
25~29	16 (26.2)	6 (22.2)	3 (10.3)
30~34	16 (25.4)	7 (25.0)	5 (14.7)
35~39	16 (19.8)	8 (22.2)	11 (27.5)
40~44	14 (17.7)	22 (39.3)	6 (13.3)
45~49	13 (19.1)	10 (21.7)	10 (28.6)
50~54	12 (14.6)	17 (37.8)	9 (21.4)
55~59	11 (16.7)	16 (29.6)	10 (22.2)
60~64	10 (11.0)	7 (13.2)	7 (15.9)
65~69	10 (12.2)	19 (22.6)	8 (14.0)
70~74	7 (7.5)	2 (4.0)	5 (10.6)
75~79	6 (7.3)	4 (8.3)	2 (3.9)
80~84	3 (4.1)	2 (6.7)	2 (4.2)
85~	0 (0.0)	-	-
該当数	148 (15.1)	124 (21.6)	78 (14.4)
総数	979	573	542

年齢階級 (歳)	平成24年度 (人) (%)	平成28年度 (人) (%)	令和4年度 (人) (%)
20~24	52 (98.1)	13 (81.3)	25 (100.0)
25~29	54 (88.5)	23 (85.2)	26 (89.7)
30~34	53 (84.1)	23 (79.3)	28 (82.4)
35~39	72 (90.0)	33 (94.3)	33 (82.5)
40~44	70 (90.9)	45 (77.6)	37 (82.2)
45~49	57 (85.1)	36 (75.0)	29 (82.9)
50~54	64 (79.0)	34 (73.9)	35 (83.3)
55~59	54 (81.8)	42 (77.8)	31 (68.9)
60~64	72 (81.8)	41 (71.9)	37 (84.1)
65~69	68 (86.1)	57 (67.9)	43 (75.4)
70~74	61 (70.1)	36 (72.0)	38 (82.6)
75~79	57 (75.0)	34 (75.6)	42 (84.0)
80~84	47 (69.1)	21 (72.4)	36 (78.3)
85~	3 (75.0)	-	-
該当数	784 (82.5)	438 (75.8)	440 (81.8)
総数	950	578	538

「デンタルフロスや歯間ブラシを使っていますか」の問いには、64.9%が「使っている」と回答し、ほとんどの年齢階級において過去の調査と比べて増加傾向にあった（図9）。

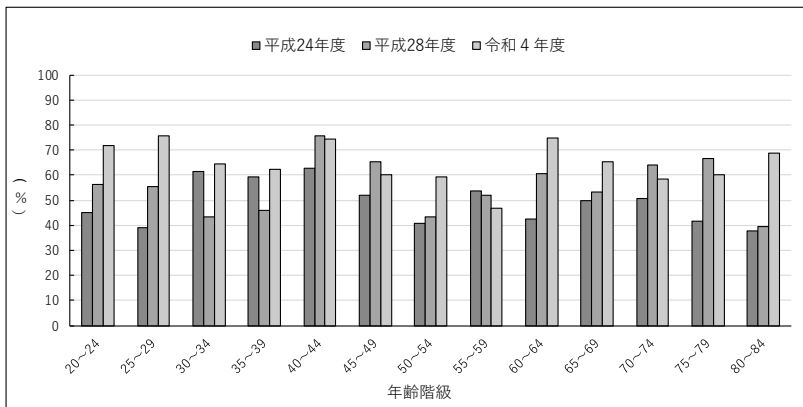
「使用している歯磨き剤はフッ素が入っているものですか」の問いには、「入っている」と答えた者は64.4%であり、前回までの調査と比較して、ほとんどの年齢階級において割合が増加傾向にあった。（図10）。歯磨剤を使っていない者は、4.3%存在した（図11）。

図9 年齢階級ごと歯間清掃器具（デンタルフロスや歯間ブラシ）を使っている人の割合



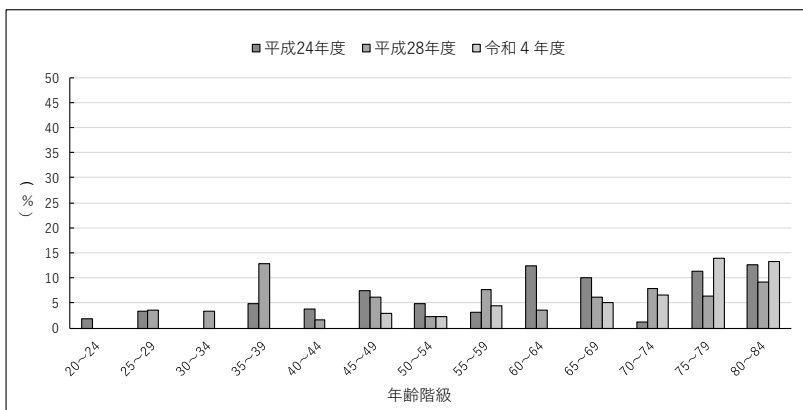
年齢階級 (歳)	平成24年度 (人)	平成24年度 (%)	平成28年度 (人)	平成28年度 (%)	令和4年度 (人)	令和4年度 (%)
20~24	12	22.6	6	40.0	9	36.0
25~29	25	41.0	11	40.7	19	65.5
30~34	33	52.4	9	30.0	24	68.6
35~39	42	51.9	16	44.4	33	82.5
40~44	38	48.7	30	51.7	33	73.3
45~49	40	58.8	28	57.1	27	77.1
50~54	45	54.2	25	54.3	29	69.1
55~59	41	61.2	25	46.3	25	55.6
60~64	48	52.2	34	60.7	26	59.1
65~69	49	61.3	40	46.5	42	72.4
70~74	51	56.0	29	58.0	32	68.1
75~79	31	38.3	22	46.8	33	64.7
80~84	30	42.3	10	31.3	21	43.8
85~	2	40.0	-	-	-	-
該当数	487	50	285	48.6	353	64.9
総数	974		586		544	

図10 年齢階級ごとフッ化物添加歯磨剤を使っている人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度 (人)	平成24年度 (%)	平成28年度 (人)	平成28年度 (%)	令和4年度 (人)	令和4年度 (%)
20~24	24	45.3	9	56.3	18	72.0
25~29	23	39.0	15	55.6	22	75.9
30~34	38	61.3	13	43.3	22	64.7
35~39	48	59.3	18	46.2	25	62.5
40~44	49	62.8	44	75.9	32	74.4
45~49	35	52.2	32	65.3	21	60.0
50~54	33	40.7	20	43.5	25	59.5
55~59	35	53.8	27	51.9	21	46.7
60~64	38	42.7	34	60.7	33	75.0
65~69	40	50.0	43	53.1	38	65.5
70~74	45	50.6	32	64.0	27	58.7
75~79	33	41.8	32	66.7	30	60.0
80~84	27	38.0	13	39.4	31	68.9
85~	-	-	-	-	-	-
該当数	468	48.8	332	56.8	345	64.4
総数	959		585		536	

図11 歯磨剤を使用していない人の割合

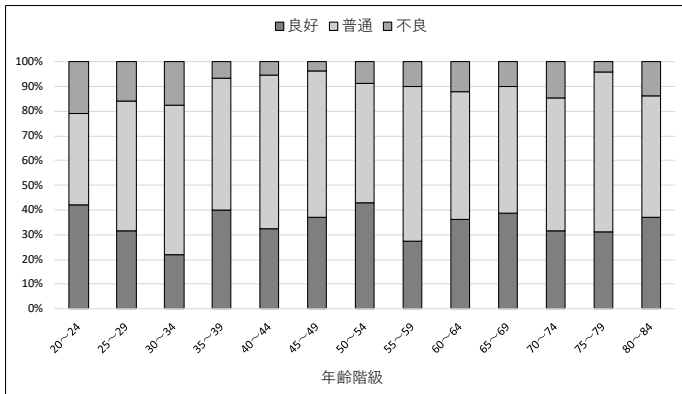


年齢階級 (歳)	平成24年度 (人)	平成24年度 (%)	平成28年度 (人)	平成28年度 (%)	令和4年度 (人)	令和4年度 (%)
20~24	1	1.9	-	-	-	-
25~29	2	3.4	1	3.7	-	-
30~34	-	-	1	3.3	-	-
35~39	4	4.9	5	12.8	-	-
40~44	3	3.8	1	1.7	-	-
45~49	5	7.5	3	6.1	1	2.9
50~54	4	4.9	1	2.2	1	2.4
55~59	2	3.1	4	7.7	2	4.4
60~64	11	12.4	2	3.6	-	-
65~69	8	10.0	5	6.2	3	5.2
70~74	10	1.2	4	8.0	3	6.5
75~79	9	11.4	3	6.3	7	14.0
80~84	9	12.7	3	9.1	6	13.3
85~	2	40.0	-	-	-	-
該当数	70	7.3	33	5.6	23	4.3
総数	959		585		536	

### (5) 口腔内診査所見について

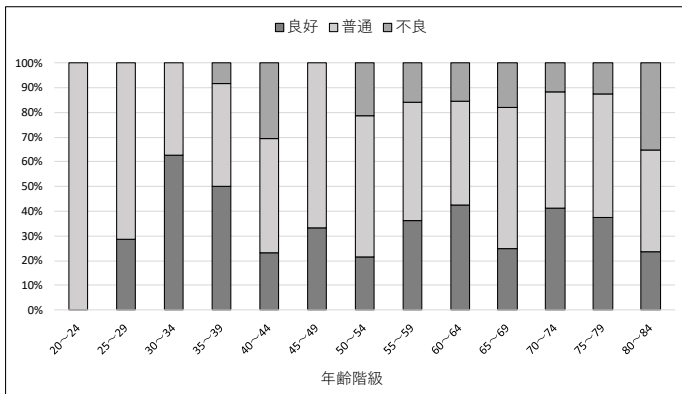
診査項目の口腔清掃状態では、「良好」が34.7%、「普通」が55.0%、「不良」10.4%であった。前回調査と比較すると「良好」が0.7ポイント増加し、「不良」は5.1ポイント減少している（図12、図13、図14）。

図12 年齢階級ごとの口腔清掃状態（令和4年度）



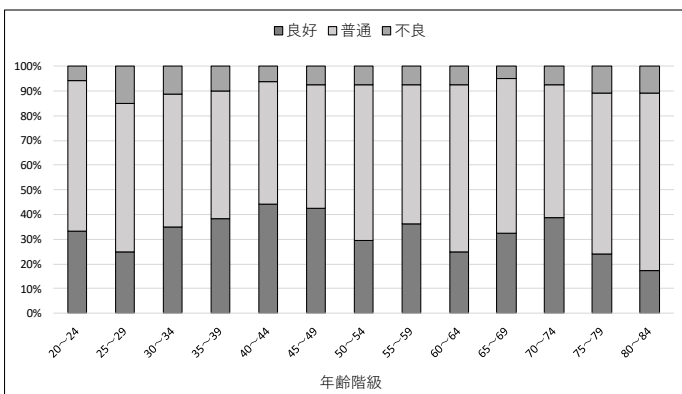
年齢階級 (歳)	良好		普通		不良		
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
20~24	8	42.1	7	36.8	4	21.1	
25~29	6	31.6	10	52.6	3	15.8	
30~34	5	21.7	14	60.9	4	17.4	
35~39	12	40.0	16	53.3	2	6.7	
40~44	12	32.4	23	62.2	2	5.4	
45~49	10	37.0	16	59.3	1	3.7	
50~54	15	42.9	17	48.6	3	8.6	
55~59	11	27.5	25	62.5	4	10.0	
60~64	12	36.4	17	51.5	4	12.1	
65~69	19	38.8	25	51.0	5	10.2	
70~74	13	31.7	22	53.7	6	14.6	
75~79	15	31.3	31	64.6	2	4.2	
80~84	16	37.2	21	48.8	6	14.0	
85~	-	-	-	-	-	-	
計	444	154	34.7	244	55.0	46	10.4

図13 年齢階級ごとの口腔清掃状態（平成28年度）



年齢階級 (歳)	良好		普通		不良		
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
20~24	0	0.0	2	100.0	0	0.0	
25~29	2	28.6	5	71.4	0	0.0	
30~34	5	62.5	3	37.5	0	0.0	
35~39	6	50.0	5	41.7	1	8.3	
40~44	3	23.1	6	46.2	4	30.8	
45~49	4	33.3	8	66.7	0	0.0	
50~54	3	21.4	8	57.1	3	21.4	
55~59	9	36.0	12	48.0	4	16.0	
60~64	11	42.3	11	42.3	4	15.4	
65~69	11	25.0	25	56.8	8	18.2	
70~74	14	41.2	16	47.1	4	11.8	
75~79	9	37.5	12	50.0	3	12.5	
80~84	4	23.5	7	41.2	6	35.3	
85~	-	-	-	-	-	-	
計	238	81	34.0	120	50.4	37	15.5

図14 年齢階級ごとの口腔清掃状態（平成24年度）

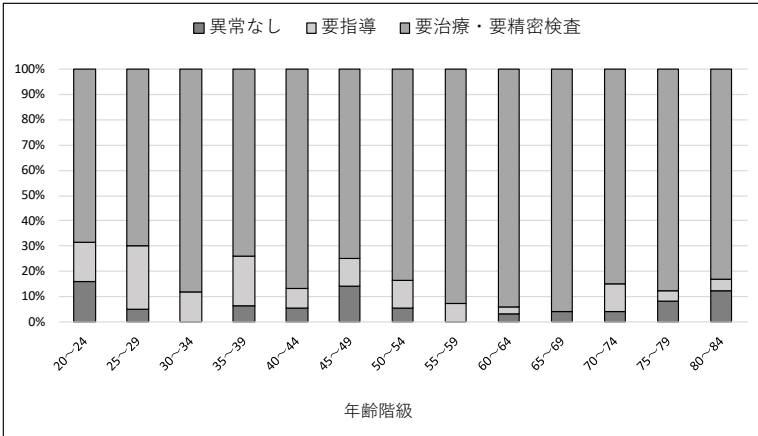


年齢階級 (歳)	良好		普通		不良		
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
20~24	17	33.3	31	60.8	3	5.9	
25~29	15	25.0	36	60.0	9	15.0	
30~34	22	34.9	34	54.0	7	11.1	
35~39	31	38.3	42	51.9	8	9.9	
40~44	35	44.3	39	49.4	5	6.3	
45~49	29	42.6	34	50.0	5	7.4	
50~54	24	29.3	52	63.4	6	7.3	
55~59	24	36.4	37	56.1	5	7.6	
60~64	23	25.0	62	67.4	7	7.6	
65~69	26	32.5	50	62.5	4	5.0	
70~74	36	38.7	50	53.8	7	7.5	
75~79	20	24.1	54	65.1	9	10.8	
80~84	13	17.3	54	72.0	8	10.7	
85~	2	40.0	2	40.0	1	20.0	
計	978	317	32.4	577	59.0	84	8.6

健康判定区分では、「要治療・要精密検査」が85.2%、「要指導」が8.6%、「異常なし」が6.2%であり、前回と比較すると「要治療・要精密検査」が7ポイント増加した（図15、図16、図17）。

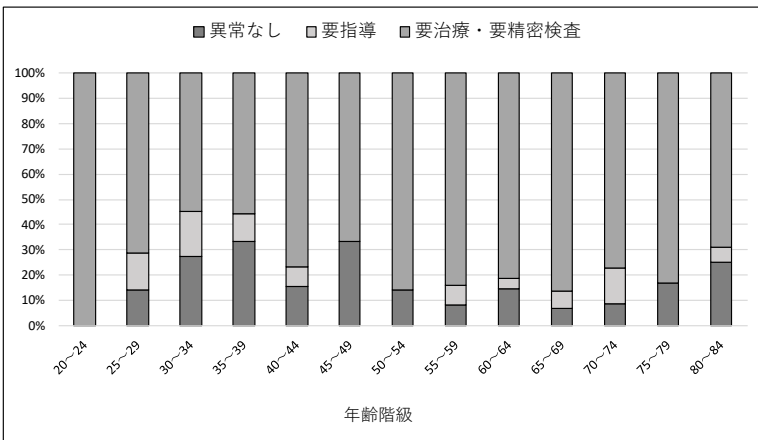
「要治療・要精密検査」の項目の内容は、「むし歯」が43.2%、「欠損歯あり」が29.3%、「歯周病」が72.7%、「その他」が48.2%であった（図18）。

図 15 健康区分判定（令和4年度）



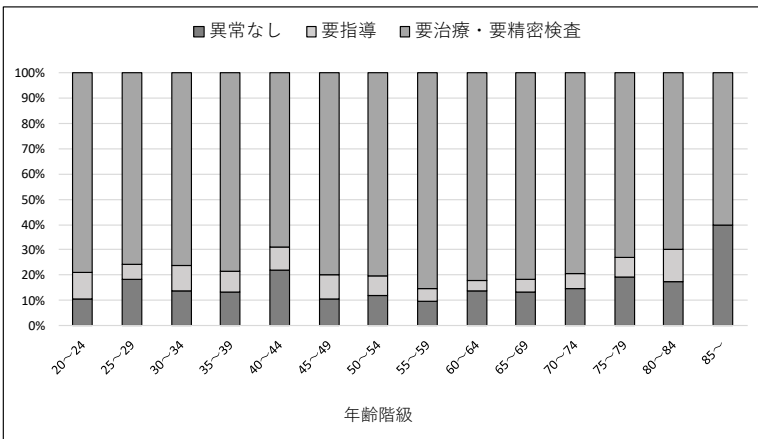
年齢階級 (歳)	異常なし		要指導		要治療・要精密検査	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	3	15.8	3	15.8	13	68.4
25~29	1	5.0	5	25.0	14	70.0
30~34	0	0.0	3	12.0	22	88.0
35~39	2	6.5	6	19.4	23	74.2
40~44	2	5.3	3	7.9	33	86.8
45~49	4	14.3	3	10.7	21	75.0
50~54	2	5.4	4	10.8	31	83.8
55~59	0	0.0	3	7.5	37	92.5
60~64	1	3.0	1	3.0	31	93.9
65~69	2	3.9	0	0.0	49	96.1
70~74	2	4.3	5	10.6	40	85.1
75~79	4	8.3	2	4.2	42	87.5
80~84	6	12.5	2	4.2	40	83.3
85~	-	-	-	-	-	-
全体	29	6.2	40	8.6	396	85.2

図 16 健康区分判定（平成27年度）



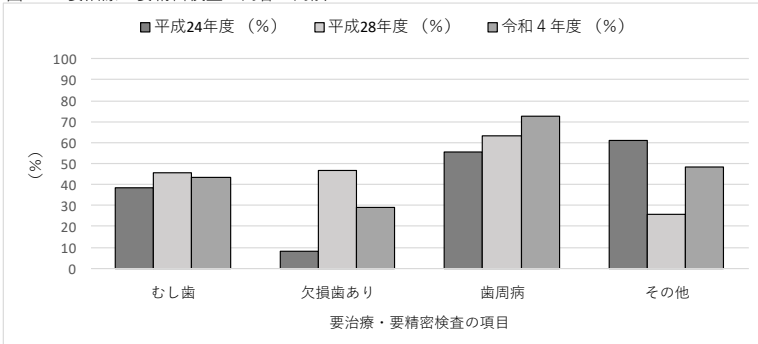
年齢階級 (歳)	異常なし		要指導		要治療・要精密検査	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	0	0.0	0	0.0	2	100.0
25~29	1	14.3	1	14.3	5	71.4
30~34	3	27.3	2	18.2	6	54.5
35~39	3	33.3	1	11.1	5	55.6
40~44	2	15.4	1	7.7	10	76.9
45~49	4	33.3	0	0.0	8	66.7
50~54	2	14.3	0	0.0	12	85.7
55~59	2	8.0	2	8.0	21	84.0
60~64	4	14.8	1	3.7	22	81.5
65~69	3	6.8	3	6.8	38	86.4
70~74	3	8.6	5	14.3	27	77.1
75~79	4	16.7	0	0.0	20	83.3
80~84	4	25.0	1	6.3	11	68.8
85~	-	-	-	-	-	-
全体	35	14.6	17	7.1	187	78.2

図 17 健康区分判定（平成24年度）



年齢階級 (歳)	異常なし		要指導		要治療・要精密検査	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	5	10.4	5	10.4	38	79.2
25~29	10	18.5	3	5.6	41	75.9
30~34	8	13.6	6	10.2	45	76.3
35~39	10	13.5	6	8.1	58	78.4
40~44	17	22.1	7	9.1	53	68.8
45~49	7	10.8	6	9.2	52	80.0
50~54	9	11.8	6	7.9	61	80.3
55~59	6	9.8	3	4.9	52	85.2
60~64	11	13.9	3	3.8	65	82.3
65~69	10	13.2	4	5.3	62	81.6
70~74	13	14.8	5	5.7	70	79.5
75~79	15	19.2	6	7.7	57	73.1
80~84	11	17.5	8	12.7	44	69.8
85~	2	40.0	0	0.0	3	60.0
全体	134	14.8	68	7.5	701	77.6

図 18 要治療・要精密検査の内容の内訳



年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度		令和4年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
むし歯	271	38.7	85	45.5	171	43.2
欠損歯あり	58	8.3	87	46.5	116	29.3
歯周病	389	55.5	118	63.1	288	72.7
その他	426	60.8	48	25.7	191	48.2
総数	701		187		396	